

マテリアリティと重要項目の特定

ダイセキグループでは環境を通じ社会に貢献する環境創造企業として持続的に成長していくために、5つのマテリアリティを特定して取り組みを推進しています。サステナビリティの観点と連動を図りながら中長期的な視点で企業価値向上を促進していきます。

重要課題の重要性評価

高い ステークホルダーに対する重要性 低い	高い	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティ ● ワークライフバランス ● 人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラル ● サーキュラーエコノミー ● 環境保全 ● お客様との信頼関係 ● 健康経営 ● 社員のエンゲージメント向上 ● コンプライアンス遵守 ● コーポレート・ガバナンス ● コア事業シェアアップ ● 新規事業の開拓 	
	低い	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域との信頼関係 ● 自治体や大学との連携 ● 地域への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ● ひとりひとりの個性と能力の発揮 ● 安全確保の理念 ● 安全に取り組む人づくり ● 安全教育 ● 安全に必要な設備 	
	低い			
		低い	当社の事業活動における重要性	高い

パーパス 経営理念



指針 方針



マテリアリティ



考慮した主な意見

投資家

- 自社の温室効果ガス排出量削減
- 水循環への貢献
- 有害廃棄物排出量の情報開示
- 社員教育、労働マネジメントの強化
- 人権保護
- 安全マネジメントシステムの導入
- 業績連動報酬制度の導入
- グループ会社管理の強化
- [VISION2030]の目標管理
- コンプライアンス遵守

ダイセキグループの役員及び社員

- サークュラーエコノミー社会の実現
- 気候変動対策の推進
- ひとりひとりの個性と能力の発揮
- 安全を最優先し安心して働ける職場
- 地域社会との共存・共栄
- コンプライアンス遵守による信頼獲得

マテリアリティの重要項目

環境保全と資源循環ビジネスの深度化

脱炭素社会の実現に向けた貢献

社員の力を最大化する人材育成、心身の健康、働きがいのある職場環境の整備

人権の尊重と幸福の追求

安全を全てに優先させる理念の浸透

安全確保に必要な教育の実施と設備の配置

地域の環境保全への貢献

災害復旧支援による社会インフラの維持

強固なガバナンス体制の確保

コンプライアンス教育の実施